

平成21年第6回日野町議会定例会（2日目）

平成21年9月11日 午前10時 開議

一般質問通告表

通告順	氏名	質問事項
1	松本利秋	<p>※観光を通した町の活性化について</p> <p>これから気候もよくなり秋の行楽シーズンがやって来ますが、昨年来のアメリカに端を発した経済危機は世界的な広がりを見せ、今、不景気の真ただ中。地方にもその波が押し寄せ、企業が衰退し、働きたくても働き場所がないのが現状です。</p> <p>そこで、本町に流入人口を増やし町の活性化を図るために、観光に力を入れてみてはと思います。</p> <p>不景気でも、手軽なバス旅行が好調のようで、「安・近・短」の食い倒れツアーや歴史探訪など、日帰りツアーに人気があるとか。この「安・近・短」の観光傾向は、本町のようなコンパクトな観光地にとっては、今がチャンスではないかと思えます。</p> <p>ところで、本町の観光といえば、近年脚光を浴びた金持神社(年間約15万人)、おしどり(約1.7万人)、滝山公園(約1.7万人)の他、長楽寺等の神社仏閣。また、新しいものとして日野川のラフティングが注目されていますが、今一度、観光の原点に立ち返り、知恵を出しあって仕掛けをすることです。そのために、新しいものを整備するのではなく、既存の公園や施設等を有効活用し、観光の掘り起こしを通して町民が元気になり、人が来、賑わいのある町にしたいものです。</p> <p>1.) 金持神社とオシドリ観光 本町観光の目玉となっている金持神社への参拝客をどのようにして増やし、町内の観光地との連携をどう図るか。 また、オシドリ観察者を町内にどう導き入れるか。</p> <p>2.) 映画による町起こし 日本全国で映画ロケ地によるまち起こしが盛んに行われています。本町でも以前に奥渡で映画「八ッ墓村」のロケが行われ賑わいましたが、八ッ墓明神のロケ地の再現や案内板の設置で、観光に繋げることはいか。</p> <p>3.) 町歴史民俗資料館の活用 町歴史民俗資料館は、歴史的建造物であり町の誇りです。 資料館の他、多目的な利用を行い館の価値を高めることはできないか。</p> <p>4.) 本町の貴重な文化財や史跡、 また、全国的に著名人を排出しており、その研究・掘り起こしをし、観光に結びつけることはできないか。 長楽寺(重要文化財)や泉龍寺等の神社仏閣。 本町出身の生田長江、画家の木山義喬、小早川秋声、タタラの研究など、歴史の勉強から掘り越し。</p> <p>5.) 図書館(公民館)を活用し、観光案内の拠点整備 図書館や公民館は本町の玄関口に位置しており、役所の休日でも図書館は開館しています。また、図書館は情報量も豊で気軽に利用することができるので、観光案内の拠点として整備する考えはないか。</p> <p>6.) 町内及び近隣の観光地の連携と町民みんなのもてなしの心の育成 観光地の連携を図るとともに、観光で一番大切なことは、携わる者は勿論のこと、町民みんなの挨拶ともてなしの心が大切です。その育成をどのように考えておられるか。</p>

2	小谷博徳	<p>※住民サービス低下について 急速に進む高齢化社会に突入している本町。 行政はその認識を理解して対応と方向性を当然定めて町政を進めないと住民サービスの低下を招く。 役所に住民の声が聞こえているだろうか。 高齢社会の実態把握と問題点の解決策を模索しているのか。</p> <p>交通不便集落の高齢世帯・高齢独居世帯より出る「声」は、住みにくい町へ向かう心配が多い。 この現実を背景に住民の声を届けたい。</p> <p>1) 急激に高齢化社会へ傾注する本町の実態把握をどのようにとらえているのか。</p> <p>2) 交通不便地区の高齢世帯・弱者対策の将来的施策や現に取り組んでいる具体的事例は。</p> <p>3) 選挙投票所削減の理由。 住民理解と合意形成は。 将来的方向性は。</p> <p>4) 住民基本検診・癌検診受診会場の将来的方向性は。</p> <p>5) バス停雨漏り・破損の把握と維持管理対策は。</p> <p>6) 職員の現場主義、地域担当制の導入配置の考えは。</p>
---	------	---

3	中原 明	<p>※防災対策について</p> <p>中国・近畿地方で豪雨災害が相次ぎ、死者が37人を超え、まだ行方不明の人もいる。</p> <p>「ゲリラ豪雨」に加え「記録的豪雨」「想定を超える水位の上昇」が多発する中、地方自治体による警戒情報や避難勧告指示の遅れも指摘され、政府は全市町村に非難基準マニュアルを作成するよう要請した。</p> <p>被災各自治体とも行政対応が後手にと報道されたが、本町はどう対応されるのか。</p> <p>①本町は災害に強い町づくりを目指しているが、地震対策が中心であり、豪雨、豪雪、火災に対する基本姿勢を示されたい。</p> <p>②05年3月豪雨時に、政府は「避難勧告等の判断、伝達マニュアルガイドライン」を示した上で、全市町村にマニュアル作成を求めたが、本町はどう対処されたか。</p> <p>③土砂災害ハザードマップの作成はどうなっているか。</p> <p>④土砂災害警戒区域のイエロー区域、レッド区域の住民に事前情報伝達方法や、警戒避難体制等について、周知徹底してあるか。</p> <p>⑤兵庫県佐用町では、9日午前9時40分迄の3時間に集中した、1時間に89ミリの猛烈な雨に町役場は避難勧告を出すまで1時間20分かかった。</p> <p>本町では、雨量と水位の上昇による災害のシュミレーションを作成してあるか。</p> <p>⑥佐用町では、防災無線を認識した人は43%、川や雨の音がすごく聞き取れなかった等、無線の限界も示されたが、情報伝達のあり方を再検討する必要があるのではないか。</p>
---	------	---

4	松原直人	<p>※根雨街部の排水について 相次ぐ豪雨災害、今夏、日本列島で続く天候不順などの状況を踏まえ、根雨の街部には、宝山谷川から二軒茶屋川の間に、6ないし7本の谷川があります。3区（資料館の上）大塚谷川の上流域は広く（17ヘクタール）山側の用水路では処理できないで溢れ床下浸水する恐れがあります。大雨が降れば皆さん心配しています、対策は。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 川・谷川に対する基本的な考えは。 2) 大塚谷川の排水について4区、5区の水路は小さく、住民が困っています。対策は。 3) 山側の用水路より中の用水路、次に下の用水路へそして板井原川又日野川へオーバー水を放流する計画案は。 <p>※有「フレッシュひの」について 平成19年9月、事業撤退から2年経ちました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 会社の清算は。 <p>※引き続き町政を担当する意欲は 町長に就任され3年半がすぎました。 厳しい財政の中、赤字予算を2年組まれ、平成18年度の一度の赤字決算で以後、単年度黒字化しました。将来に向けて明るい見通しも見えつつあります。 地方債残高は平成21年度末見込み、62億1千881万円（収支推計表）公債比率28.4%はイエローカードです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 引き続き町政を担当する意欲をお持ちか伺います。
---	------	--

5	佐々木求	<p>※下水処理について 黒坂地区農業集落排水処理の汚泥消滅化についての費用対効果について</p> <p>①経済的効果はどうか。 ②日野町江府町日南町衛生施設組合に対しての問題点は何か。 ③循環型社会を作る上で、こうした事業を根雨地区公共下水道処理施設でも取入れるべきではないか。 実施した場合の費用対効果はどのくらい見込めるか。</p> <p>※おしどり作業所について 自立支援法との関りで</p> <p>①菜種油事業の展開だけでなく、廃油処理はできないのか。</p>
---	------	--